# 平成22年度 事務事業評価シート (平成21年度実績分)

事	務事業名	出前料理教室事業	部課コート	2707	予算	事業科目	120101010330	事	単	区	分	継	続		
所	担当部局	農林水産部	部局長名(2	2次評価者)	水口俊智		個	全部	120101010330	-					
管部	担当部署	市場課	所属長名(1	) 次評価者)	西内八郎		別事			-					
署	電話番号	088-883-1171	E-mail	kc-27070	0@city.kochi.	g.jp	務			_					

## 1 事業の位置付け

予	9	草 科 目 (平成21年度)	高知市総合計画・実施計画施策体系での位置付け
会計	12	中央卸売市場事業特別会計	<b>目標  </b> 01   新しい価値を創造発信する都市
款	01	総務費	政策 04 新しい価値を生み出す商工業の振興 策 活力ある都市の実現をめざし、起業と創造を促進するとともに、新たな産業の創出を図るなど、新しい
項	01	総務管理費	施策 05 中央卸売市場の充実強化 本
目	01	総務管理費	区分 01 中央卸売市場の整備 針

## 2 事業の根拠

法律・政令・省令	卸売市場法	法定受託事務	
県条例・規則・要綱等			
市条例・規則・要綱等	高知市中央卸売市場業務条例		
その他(計画,覚書等)			

# 3 事業の目的・内容等

<u> </u>	7 ~ <u> </u>	7 <b>1</b> 11 11 1	11D:37									
対象	誰(何	[)を対象に	市内小学校の児童									
意図	どの。	ような状態 ていくのか	子供たちの魚離れ野 産品を使った料理教室	子供たちの魚離れ野菜離れが警鐘されている昨今食生活の見直しと食育の普及を目指し魚を中心とした高知の旬の食材地場 産品を使った料理教室を実施する。あわせて当市場に流通する産品の消費拡大と市場のPRを行う。								
<b>→</b> cn.	± **r		TWO 0 0 7 1 + 18 d	事業開始年度 平成20年度								
于段	争来	<b>美</b> 他体制寺	職員2~3名と市場に	R業者が連携し小学校に出向き実施 事業終了年度								
活動内容												
<del>ct)</del>	事業目的の成果を測る指標			指標設定の考え方								
果	Α											
成果指標	В											
悰	С											

#### 4 事業の宝績等

4 #	事業(	リラ	・村	[寺						
						19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(計画)	備考欄
	А				目標					
ᆎ					実績					
果	В				目標					
成果指標					実績					
175	С				目標					
	U				実績					
		決	算	額	(千円)		285	233	267	
				国費	(千円)					
	①事業費		財	県費	(千円)					
			財源内訳	市債	(千円)					
			訳	その他	(千円)					
				一般財源	(千円)	0	285	233	267	
投		翌	年	<b>きへの繰越額</b>	(千円)					
投入コスト	2	人	件	費等	(千円)	0	375	375	375	
コス	概		正	規職員	(千円)	0	375	375	375	
7	算		そ	の他	(千円)					
	人 件 費	人	役	数	(人)		0. 05	0. 05	0. 05	
	費等		正	規職員	(人)		0. 05	0. 05	0. 05	
	₹		そ	の他	(人)					
	総コ	スト	<u> </u>	1 + 2	(千円)	0	660	608	642	
	市民1人当たりコスト (円)					0	2	2		総コスト/年度末人口
	白	F度:	末任	主民基本台帳人数	(人)	341, 544	340, 695	339, 714		

# 5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

市場活性化の一環として市場への理解と関心を促しさらに食育の観点を合わせ持っている事業である。事業効果を指標であらわすことは困難であるが、ニーズは多く事業効果は高いと考える。

# 6 1 次評価(前屋上評価)

6		評価(別				_										平均				評		(4		年		月		日)
			価	項		<u>目</u>			_			基	準		1次	点数	_				評	価	内	容	の	説	明	
		〔施策体	茶	等での	)位置·	付け]		(5)																				
事業	1					・実施計画・	π⊨				びつ				В													
業実		長マニュフェスト等の目標達成に結びつく か、又は、事業の根拠等に結びつくか				·   -					_	かない												_		<b>.</b>		
施		<i>3</i> , ×16,	7.7		- 47 1 € 11°L	10.2 ( 13.	D	(0)	結	びつ	かな	い				4. 0	)							て市り	易へ	の理解	¥とP	R及び食
の必		〔市民二	=-:	ズの傾	(向)		A	(5)	非'	常に	多い	, 急	増して	こいる		•							ある	•				
要	<b>②</b>	事業の実施	施に対する市民のニーズ(需		ニーズ(需要	В	(3)	横	ばい	であ	る			A														
性	)	量)の傾向はどうか			С	(1)	少	ない	、減な	りし	ている	5																
							D	(0)	ほ	とん	だな	い					1											
		〔成果 <i>0</i> .	り達り	<b>直成状況</b> 〕				(5)	+:	分に	達成	して	ている															
事業	<b>3</b>	事業の成界	果指	票の達瓦	成状況(	は順調か	В	(3)	概	ね達	成し	てし	ハる		Α													
内	)	Section of the sectio				C	(1)	あ	まり	順調	でに	はない		^														
容									+:	分な	成果	を	望めな	い		4. 0	内容についての感想は良好で再度の実施要望が多					が多い。						
の有	4	〔事業 <i>0</i> .	容〕	Α	(5)	妥:	当で	ある					•	1	現状の体制・予算では現在の実施が限界である。						る。							
効		事業成果の向上のための手法・活動内容の 妥当性				<sub>စ</sub> ြ	(3)	概	ね妥	当で	ある	<u>გ</u>		В														
性							(1)	検	討の	余地	がる	ある																
									見	直し	が必	要	である															
	<b>(5</b> )	〔アウト	- ソ-	ーシン	゚゙゙ヷ゚゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙ヷ	可能性〕	A	(5)	実	施済	・で	きた	ない															
事		事業の実施	施にが	かかる目	民間活:	カ利用の可能	性 B	(3)	行i	政主	体が	望	ましい		В													
業実	)					C	(1)	検	討の	余地	はは	ある																
施						D	(0)	+:	分可	能で	ある	<u>る</u>			3. 0	市場内においてアウトソーシングが可能な事業主体が						業主体が						
の効		[事業統合・連携・コスト削減] 類似事業との統合・連携やコスト削減の可					A	(5)	現	状が	望ま	しし	ハ・で	きない		0. 0	الم الم			ない。								
率	<b>6</b>						<sub>可</sub> B	(3)	概	ね対	率的	1127	できて	いる	В													
性	9	能性						(1)	検	討の	余地	がる	ある		_													
								(0)	+:	分可	能で	ある	<u>る</u>															
		〔受益者	きの(	偏り〕			A	(5)	極	めて	公平	性力	が高い															
事業	<b>7</b>	事業の受益	益者	が特定の	の個人	(団体)等に偏	y B	(3)	概	ね保	たれ	てし	ハる		В													
業実	•)	がなく公立						(1)	偏	って	いる																	
施							D	(0)	公	平性	を欠	いっ	ている			4 0												施してい の対応が
の公		〔受益者						(5)	適.	正な	負担	割台	合であ	る <b></b>		•		果題										
平	<b>8</b>					益者者負担割 <sup>.</sup> か。	台 B	(3)	概	ね遃	正な	負担	旦割合	である	Α													
性	9	(一般財源負担割合)は妥当か。 補助金等交付事業の場合,対象経費は妥当				当 C	(1)	検	討の	余地	がも	ある		^														
		,,,°	か。				D	(0)	検	討す	べき	でさ	ある															
総		総			事業維				(;	総合	点が	16,	点以上	で、各項目	■の平均	均点数	が	ر ۱۶	*h	ŧ 2	点を	超え	こる場	合)				
合	15	5. 0 🔓		<b>O</b> B	経費肖	削減に努め事	業継	続	(;	総合	点が	12,	点以上	16点未満で	で, 各」	項目の	平:	均点	数	がし	ヽず∤	ı ŧ 2	2点を	超え	る場	合)		
点	10		評	C :	事業網	計・再構築	の検	討	(;	総合	点が	4 ,	点以上	12点未満	又は1	各項目	<b>ග</b> ්	平均	京点	数σ.	いす	「れか	いで 2	点以	下が	ある	場合)	
		個	Щ	D :	事業序	軽止・凍結の	検討		(;	総合	点が	4,	点未満	又は 各項	頁目の	平均点	数	のし	ゖずぇ	れか	で	点以	人下か	<b>ある</b>	場合	•)		

### 7 2次評価 (部局長評価)

評価日(平成 22 年 9 月 30 日)

	総	合		評	価	評価理由・今後の方向性等						
	ΑĘ	事業継	続									
0	Β #	径費削	減に	努め	事業継続	場の活性化や食育の面で重要な事業であるので、経費の節減を図りながら事業継続。						
	C =	事業縮	小 -	再構	築の検討	「中場の活性化や良月の曲で里安な事業であるので、経質の即減を凶りなから事業権税。						
	D Ą	事業廃	止・	凍結の	の検討							

Ω	娃	記	車	佰
0	1য	ᇟ	7	~77

8	8 符記争垻	